

令和4年度

試験名： 国際バカロレア特別入試

【人文・文化学群 比較文化学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
問一	<p>(解答例) 外国人労働者の受け入れは、現時点では、人手不足の解消という短期的な課題解決のためと捉えられているが、今後日本には、人口の減少や高齢化といった長期的な問題が出現する。このような課題に対し、外国からの若い高学歴の人材は、生産性などの経済面を向上させるだけでなく、日本の若者たちに対し、社会の様々な分野で大きな刺激を与えるものと予想される。こうして彼ら外国人労働者には、日本の経済成長を牽引する役割を担い、社会全体の活性化に貢献すること、ひいては持続可能な社会の構築に寄与するであろうことが期待できる。(248字)</p>
問二	<p>(出題意図) 問一で確認させたような著者の趣旨を踏まえたうえで、日本における外国人労働者の受け入れを前向きに進めつつ、日本社会を持続可能な社会として構築してゆくための具体的・独創的な発案が論理的に展開されていることがポイントである。</p>